

【CL名】武田さん 【解答者】ヤマチャン 【作成日】2023年10月7日 【作成時間】47分

設問

[問い1] 今ならどのような質問ができるか

- 1) 「仕事自体は」というお話がありました。 「自体は」というのはどういうことでしょうか。
- 2) 「イコラス」というのはどういうものなのでしょうか。教えていただけますでしょうか。
- 3) 「リモートワーク」は、武田さんにとっては、どのようなものになるのでしょうか。
- 4) 「この年で転職」というお話がありました。武田さんは「何」をどう考えていますか。
- 5) 「この年で転職」というお話がありました。武田さんは「転職」をどう考えていますか。
- 6) 「集まって飲み会」「そういう話ばかり」とのことですが、どうしてそう思われるかが。

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例IのCC18 (相応しい・相応しくない)

理由: 言語的追跡を用いて感情に焦点を当て、寄り添いながら傾聴したこと。 「仕事にやりがいを感じているわけではない」といったお話を聴いた。 終盤で「転職」を考へることも聴いた点。

事例IIのCC19 (相応しい・相応しくない)

理由: 感情に関し深掘りできた。 「仕事自体」と「リモートワーク」などに関しどのような価値観があるのかをお話し頂くに至らず、相談者がどのような価値観を持っているか不十分だった点。

[問い3] クライアントの主訴

冒頭では「仕事自体はそれなりに可もなく不可もない」という発言から、リモートワークから会社に働き方が戻ったことで「しんどい」とのことだったが、お話を伺うと、仕事に声を出さず、集まる飲み会に喜ぶ人に対して「イヤ」を感じるから、転職も考へているとのこと。 相談者自身がどのように働きたいのかという自己理解不足、職場環境に関する仕事理解不足。 更に、周囲との関わりを持とうとしないコミュニケーション不足が現時点での主訴と考へる。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

引き続き相談者の感情に焦点を当て、丁寧に傾聴していくことで信頼関係の構築に努める。 そのことにより、「仕事自体は」と「リモートワーク」に対して質問し、仕事に関する理解がどれくらいあるのか、リモートワークに判り、価値観がどのようなものがあるのかの点から相談者の内省を促すことで自身を振り返ってもらう機会を作る方針とする。 最終的に自身の働き方、現在の職場環境、周囲とのコミュニケーションに関し理解を深め、転職も含めて最良の意思決定ができるよう寄り添いながら支援していく。